

第135条 総合社会情報研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は、次のとおりである。

1 博士前期課程

各専攻共に専攻科目及び共通科目から、必修科目を含めて30単位以上を修得しなければならない。ただし、そのうち、8単位以上を面接授業で修得しなければならない。

I 国際情報専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
国際情報論特講	4	4			
戦略情報論特講	4		4		
危機管理論特講	4		4		
組織倫理論特講	4		4		
現代政治学特講	4		4		
国際法特講	4		4		
国際政治論特講	4		4		
国際協力論特講	4		4		
国際関係論特講	4		4		
行政論特講	4		4		
日本政治史論特講	4		4		
アフリカ開発論特講	4		4		
グローバルヘルス論特講	4		4		
国際メディア論特講	4		4		
現代中国政治論特講	4		4		
日中比較社会論特講	4		4		
環境生態論特講	4		4		
市民社会論特講	4		4		
経済理論特講	4		4		
国際経済政策論特講	4		4		
近代日本社会変動論特講	4		4		
グローバル経営戦略論特講	4		4		
現代ファイナンス論特講	4		4		
アカウンティング論特講	4		4		

日本大学学則（第3章 大学院）

フィナンシャル・アカウンティング論特講	4		4	
マネジメント・アカウンティング論特講	4		4	
マーケティング論特講	4		4	
人材マネジメント論特講	4		4	
多国籍企業論特講	4		4	
流通ビジネス論特講	4		4	
ビジネス法特講	4		4	
ファミリービジネス論特講	4		4	
ファミリーガバナンス論特講	4		4	
事業創造論特講	4		4	
事業承継論特講	4		4	
中小企業論特講	4		4	
特別研究 学位論文	6	6		

II 文化情報専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
文化情報論特講	4	4			
比較文学特講	4		4		
メディア文化論特講	4		4		
翻訳論特講	4		4		
日本文化論特講 I	4		4		
日本文化論特講 II	4		4		
東アジア文化論特講	4		4		
中国語圏文化論特講	4		4		
ヨーロッパ言語圏文化論特講	4		4		
英語圏文化論特講	4		4		
児童文学特講	4		4		
言語教育学特講	4		4		
言語学特講	4		4		
異文化間コミュニケーション論特講	4		4		
社会言語学特講	4		4		
第二言語習得論特講	4		4		

A
〔日本大学 令二〕 五七二

言語教育工学特講	4		4		
言語教育デザイン論特講	4		4		
日本語学特講	4		4		
日本語教育方法論特講	4		4		
英語学特講	4		4		
英語教育方法論特講	4		4		
特別研究	6	6			
学位論文					

Ⅲ 人間科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
人間科学特講	4	4			
社会哲学特講	4		4		
哲学史特講	4		4		
宗教哲学特講	4		4		
科学哲学特講	4		4		
生命倫理学特講	4		4		
社会思想史特講	4		4		
心理学史特講	4		4		
心理学研究法特講	4		4		
認知心理学特講	4		4		
社会心理学特講	4		4		
産業・組織心理学特講	4		4		
臨床心理学特講	4		4		
医療心理学特講	4		4		
行動分析学特講	4		4		
コミュニケーション心理学特講	4		4		
生涯学習論特講	4		4		
学校教育学特講	4		4		
教育心理学特講	4		4		
教育臨床学特講	4		4		
生徒指導論特講	4		4		
教育評価論特講	4		4		

A
〔日本大学
令二〕
五七三

健康科学特講	4		4		
安全学特講	4		4		
人間工学特講	4		4		
環境生理学特講	4		4		
スポーツ運動学特講	4		4		
スポーツ医学特講	4		4		
スポーツ心理学特講	4		4		
コーチング学特講	4		4		
特別研究	6	6			
学位論文					

IV 共通科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
調査分析特講	4		4		
統計基礎Ⅰ	2		2		
統計基礎Ⅱ	2		2		
ゲーム理論	2		2		

- ① 各専攻における授業方法は、指定教材等による授業、面接授業及びメディアを利用して行う授業のいずれかにより又はこれらの併用により行う。
- ② 指定教材等による授業は、研究課題を設け、次の方法で指導する。
 - (1) 教材は、必要に応じて講義概要等で指定する。
 - (2) 研究指導書は、各授業科目により必要に応じて配布する。
 - (3) 学生は所定の研究課題について、報告書（レポート）を提出し、研究指導を受け、合格しなければならない。
 - (4) 報告書（レポート）に対しては、担当教員が添削・講評し、批評を行った上返送する。
 - (5) 研究課題の質疑は所定の通信手段をもって行う。
- ③ 面接授業は、所定の施設において行う。実施する時期、場所及び科目等については、別に定める。
- ④ メディアを利用して行う授業は、指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段により行う。
- ⑤ 各授業科目を履修した者は、指定の時期及び場所において、当該授業科目の科

目修得試験又はスクーリング試験を受けなければならない。

2 博士後期課程

12単位以上を修得しなければならない。

I 総合社会情報専攻

授 業 科 目	単位数	必 修 単位数	選 択 単位数	履 修 方 法	備 考
（国際情報分野）					
国際情報論特殊研究	4		4		
危機管理論特殊研究	4		4		
現代政治学特殊研究	4		4		
国際法特殊研究	4		4		
国際政治論特殊研究	4		4		
日本政治史論特殊研究	4		4		
現代中国政治論特殊研究	4		4		
開発政策論特殊研究	4		4		
日中比較社会論特殊研究	4		4		
国際経済政策論特殊研究	4		4		
国際経営論特殊研究	4		4		
流通経営論特殊研究	4		4		
近代日本社会変動論特殊研究	4		4		
（文化情報分野）					
比較文学特殊研究	4		4		
翻訳論特殊研究	4		4		
日本文化特殊研究	4		4		
東アジア文化特殊研究	4		4		
英語圏文化特殊研究	4		4		
言語教育学特殊研究	4		4		
言語学特殊研究	4		4		
異文化間コミュニケーション論特殊研究	4		4		
第二言語習得論特殊研究	4		4		
（人間科学分野）					
社会哲学特殊研究	4		4		
宗教哲学特殊研究	4		4		

生命倫理特殊研究	4		4		
近現代哲学特殊研究	4		4		
社会思想史特殊研究	4		4		
比較心理学特殊研究	4		4		
産業・組織心理学特殊研究	4		4		
行動分析学特殊研究	4		4		
教育学特殊研究	4		4		
教育認識論特殊研究	4		4		
健康科学特殊研究	4		4		
特別研究指導					
学位論文					

- ① 授業方法は、指定教材等による授業、面接授業及びメディアを利用して行う授業のいずれかにより又はこれらの併用により行う。
- ② 指定教材等による授業は、研究課題を設け、次の方法で指導する。
 - (1) 教材は、必要に応じて講義概要等で指定する。
 - (2) 研究指導書は、各授業科目により必要に応じて配布する。
 - (3) 学生は所定の研究課題について、報告書（レポート）を提出し、研究指導を受け、合格しなければならない。
 - (4) 研究課題の質疑は所定の通信手段をもって行う。
- ③ 面接授業は、所定の施設において行う。実施する時期、場所及び科目等については、別に定める。
- ④ メディアを利用して行う授業は、指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段により行う。